

開講科目名 / Course	精神看護学実習	
ターム・学期 / Term・Semester	2025年度 / Academic Year 2 学期 / Second	
開講区分 / semester offered	2 学期 / Second	
単位数 / Credits	2.0	
学年 / Year	3	
主担当教員 / Main Instructor	影山 隆之	
担当教員名 / Instructor	後藤 成人、影山 隆之、杉本 圭以子	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	実習	
授業回数	40	
科目の目的と概要	精神科病院、障害福祉サービス事業所での実習を通して、以下のことを学習する。 1)精神疾患を持つ人と援助的対人関係を形成し、その人を全人的に理解して、必要な看護を考えること。 2)精神保健医療福祉の理解を深め、精神疾患を持つ人に地域資源を活用して支援する方法。 3)精神看護実践に必要な自己洞察の態度。	
到達目標	病院実習： 1. 精神疾患を持つ人（入院患者）の心身と生活の状態を全人的に記述できる。 2. 必要な看護計画をたてることできる。 事業所実習： 1. 精神疾患を持つ人（在宅生活）の生活状況を全人的に記述できる。 2. 利用している社会資源と必要な支援について説明できる。 病院・事業所実習を通して： 1. 精神保健医療福祉の連携と、看護の役割について説明できる。 2. 人（患者、利用者、実習指導者、教員など）との関わりを通して対人関係における自分の傾向を振り返って述べることできる。	
DPとの対応	1.心豊かな人間性・倫理観、2.科学的思考力、3.看護の基盤となる専門知識・技能、4.連携協働・リーダーシップ、5.地域性・国際性、6.探求心と創造力	
授業計画	実習期間：9月～11月の期間中の2週間 実習場所： ・病院 衛藤病院、山本病院、大分下郡病院、仲宗根病院のいずれかの病院にて4～5日間 ・事業所 一般社団法人 SWライフ 就労継続支援B型施設「サマンの木」 一般社団法人 SWライフ 就労継続支援B型施設「サマン春日」 社会福祉法人みのり会 就労継続支援B型施設「毎日食堂」 社会福祉法人龍和会 指定就労継続支援 B型事業所「てんとうむし」のいずれかの事業所にて基本4日間 ・学内カンファレンス 1日 実習方法： ・病院実習では、学生は1人で患者1名を受け持ち、看護過程を展開する。ただし、看護計画の実施は可能な範囲で行う。 ・事業所実習では、利用者とともに就労活動に参加し、利用者の生活状況と利用している社会資源について学ぶ。 *詳細は、実習オリエンテーションにて説明する。	
その他の授業の工夫	精神科では、患者の社会復帰を視野に入れた支援が重要となるため、実習を通して、病院のみでなく、事業所でも実習を行うことにより、地域における当事者の社会復帰支援まで視野に入れた学びができるようにしている。	
時間外学修	概論、援助論、演習で学習した内容を復習し、実習の事前学習として資料を整理する。(2h) 日々の実習についてレポートなどで振り返りを行い、学びを深める。(8h)	
評価方法と評価割合	出席は原則100%とする。 実習記録（提出状況および内容）・・・60% 実習態度（実習指導者や担当教員への連絡・報告・相談、グループ内の協力状況等）・・・20% カンファレンスへの参加状況（積極性）・・・20%	
テキスト	新体系看護学全書 精神看護学1 精神看護学概論 精神保健（メヂカルフレンド社） 新体系看護学全書 精神看護学2 精神障害を持つ人の看護（メヂカルフレンド社）	
参考書	系統看護学講座 専門分野 精神看護学[2]（医学書院） 精神看護学 臨床で活かすケア こころ・からだ・かかわりのプラクティス（南江堂） 看護実践のための根拠がわかる 精神看護技術（メヂカルフレンド社）	
履修する上で必要な要件	精神看護学概論、精神看護援助論、精神看護学演習を履修済みであること。	
その他		
教員の実務経験	有・無	有

	内容	影山隆之：離島の病院の精神科における訪問診療 杉本圭以子：精神科病院、クリニックでの看護師としての経験 後藤成人：精神科病院での看護師としての経験
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	有
	内容	実習病院の指導者（看護師）：病院での勤務経験
実務経験をいかした教育内容	上記の勤務経験を活かし、精神障害を有する人々への具体的な看護ケアの方法、支援の在り方などについて伝える。	